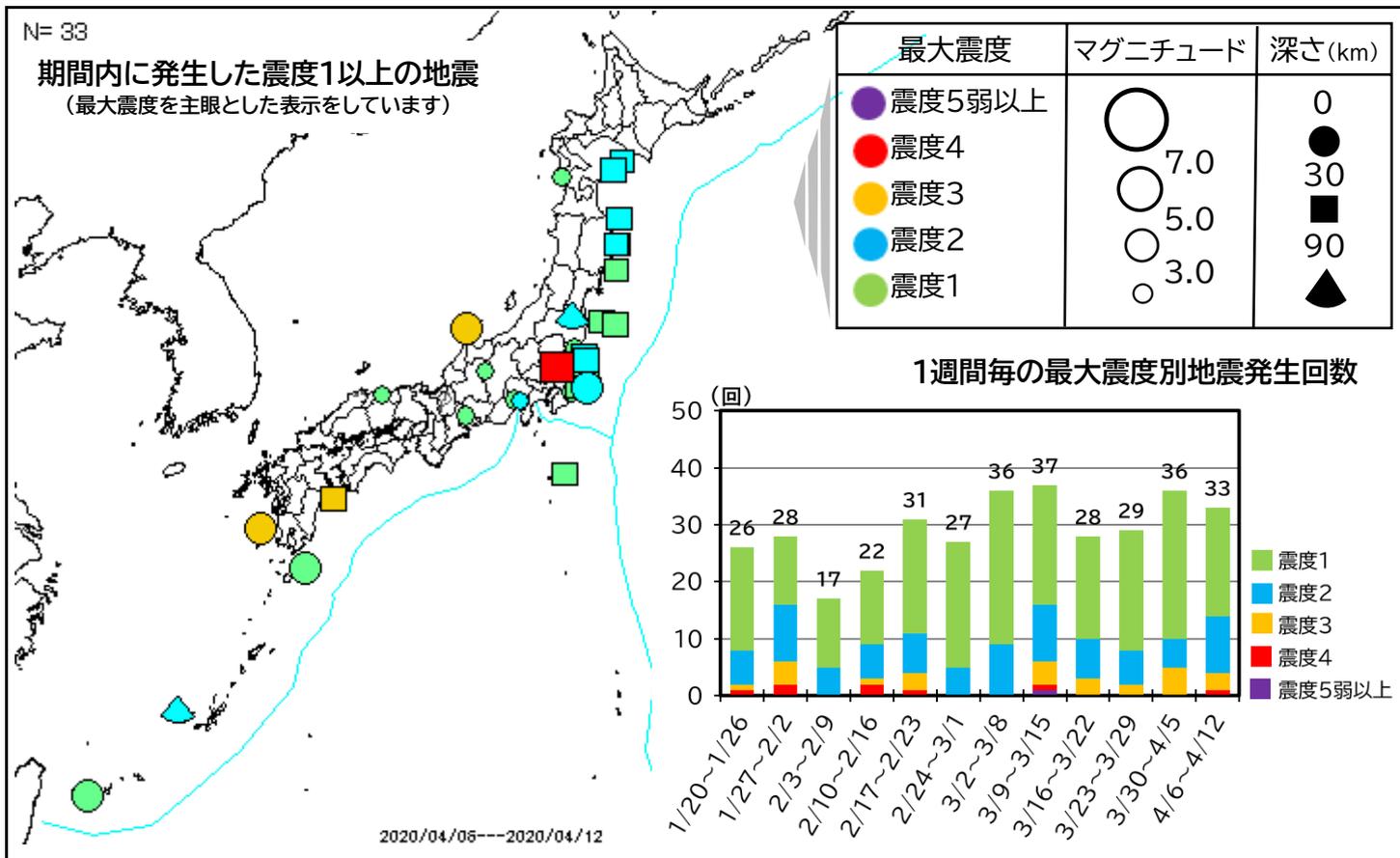


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が33回発生。最大震度は4 ■
- ・7日14時12分に日向灘で発生した地震(M4.7、深さ 33km)により、大分県及び宮崎県で震度3を観測。この付近はM5程度の地震が時々発生している。この地震は、正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生。
- ・12日00時44分に茨城県南部で発生した地震(M5.1、深さ50km)により、茨城県水戸市、栃木県宇都宮市、群馬県邑楽町、埼玉県加須市、千葉県野田市などで震度4を観測。この地域は定常的に地震活動が活発な所。この地震は、逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生。

トピックス

■ 熊本地震から4年 新型コロナウイルスと避難所 ■

・14日で熊本地震から4年となります。
図1は3月までの震央分布図。図2は図1のうち震度1以上となった地震の月別回数。一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。震度5弱以上を最後に観測したのは2017年7月2日(M4.5、産山村で震度5弱)。なお、2019年1月3日震度6弱、1月26日震度5弱(共に熊本県和水町)を観測しているが、これらは一連の地震活動域から約20km離れていることから別のものと考えられる。

・新型コロナウイルスで騒がしい昨今、熊本地震のような大地震が発生したら避難はどうするのだろうか？ 通常であれば、まずは行政が用意した避難所に避難して安全を確保するのが良いのであろう。しかし避難所は典型的な3密状態になるであろうから、避難所での感染が心配となる。

熊本地震で避難した理由について熊本市が行ったアンケートによると、最も多かったのは「自宅は危険と判断したから(67%)」である。

であれば、自宅に危険性がなければ避難所に行く必要はないとも言える。そのためには、自宅が安全な場所となるよう、家具の転倒防止、ガラスの飛散防止、住宅の耐震化、食料品の備蓄など、個人で出来る事前の備えについて改めて考える機会としたいところである。 避難行動に特効薬はないので幾つかの良薬の飲み合わせで対応。

